

# 生きる仲間

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可  
H・S・K通巻280号

◎発行日 平成7年7月10日  
(毎月10日発行)

◎編集 札幌腎臓病患者友の会  
札幌市東区北18条東1丁目  
喫茶クインテス内

◎発行所 北海道身体障害者団体  
定期刊行物協会

## 第20回定期総会報告

### モエレでのんびり、湯ったり(春のレク)



総会風景(北区民センターにて)

札幌腎臓病患者友の会



# 会員の協力で前進 札幌腎友会定期総会

平成七年度札幌腎友会第二十回定期総会が、平成七年五月十四日（日曜日）、札幌市北区民センター三階講義室で行われました。当日は好天にも恵まれ、会場もほぼ満席となりました。札幌腎友会の会員、道腎協より岩崎会長・江別腎友会より佐藤会長と会員数名で合計五十二名の総会になりました。司会者の開会のあいさつに続き、私達の先輩や仲間のご逝去を悼み、全員で三十秒間の黙とうを捧げご冥福を祈りました。次に札幌腎友会の鈴木会長より、会員の皆さんには、日頃会活動に参加協力を頂き心から感謝いたします、との言葉と共に、これ以上の福祉・医療の後退を是非とも阻止しなければならぬ事を訴えました。次に道腎協の岩崎会長より、鈴木氏が二十五年の長き険しい道を生きぬい

## 福祉・医療の後退止めよう

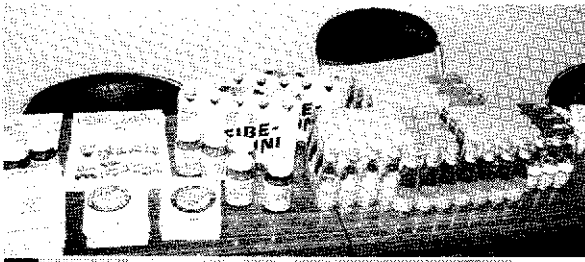
### 明るく、元気にがんばろう



新役員の紹介

た素晴らしさや、今まさに透析導入期にいる若き青年の苦しみを受けとめ、アドバイス、勇気づけたお話等、私達が一度は通り、乗り越えた壁を考え深げに話して頂きました。最後に江別腎友会佐藤会

長より、「私達は明るく、元気に生きる事が一番だいじだ」との力強いあいさつを頂き、会員からもあたたかい拍手がありました。次に議題へと移り、執行部より議長に堀井氏を推薦し皆さんの承諾を得て議長役をお願いしました。平成六年度活動報告と決算報告及び監査報告が各担当者より報告され、無事皆さんの承認を得る事が出来ました。続いて、平成七年度活動方針（案）・予算（案）・新役員（案）を提起し、会員にお計りしたところ問題なく全員の賛同を頂



討議は真剣な顔です

健康食品メーカーの展示もありました

き承認されました。新役員を代表して、鈴木会長より「会員皆さんの協力のもとに、一生懸命やっていますので、よろしくお願います」とのあいさつがあり総会を終了しました。尚、多少時間がありませんでしたので、時々会合等で展示又は試食会を行っている、メーカー（森永乳業、大塚製薬、キッセイ薬品）さんに、透析者の為の飲食品を説明して頂きました。実際に利用して効果を上げている方もいるそうです。自己管理を無理なくする一つの方法ですが、使用には情報交換等、色々聞いたうえ自己管理に役立てて下さい。会員の皆さんには、もっともっと元気になるっていただき、平成七年度も会活動や色々な行事に参加して下さい。総会の報告と致します。

祝電及びメッセージを戴いておりますので御報告申し上げます。

釧路地方腎友会様  
道南腎臓病患者連絡協議会様



会場もほぼ満席に

- 紋別地方腎友会様
  - 深川腎友会様
  - 北見地方腎友会様
  - 十勝地方腎友会様
  - 苫小牧腎友会様
  - 留萌地方水無人腎友会様
  - 旭川地方腎友会様
  - 小樽後志地方腎友会様
  - 夕張腎臓病友の会様
  - 江別溪和会病院腎臓病患者会様
- (報告 柳沼)

# 道腎協総会

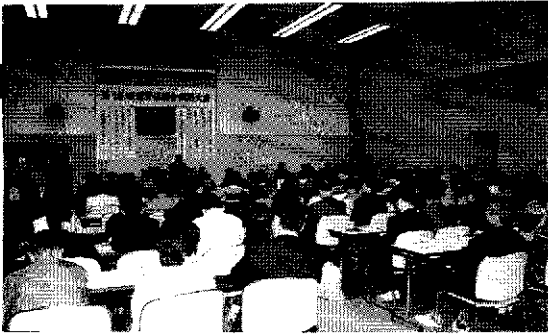
第18回

## 釧路大会

六月三日(土)午後六時より全国各地より多くの方々が集まり交流会がはじまり、釧路地方腎友会橋本事務局長による開会のあいさつのおと、地元代表として釧路地方腎友会掛札会長、岩崎道腎協会長につづいて、来賓として釧路市長代理市民部長のあいさつがありました。

つづいて宴会に入り余興のひとつとして、釧路聴力障害者協会蝦夷太鼓研究会、総勢九名による太鼓の音色を聴力障害の皆様方が、生懸命バチの「手さばき」だけで練習した成果を披露していただき感動しました。

その後、カラオケ・ゲームなどを楽しみ交流会を閉会しました。



熱気に満ちた会場

六月四日(日)午前十時より総勢二百名による総会に入り、初めに上田副会長の開会宣言のおと、亡くなられた先輩に対して黙とうをし、地元代表釧路地方腎友会掛札会長、岩崎道腎協会長のあいさつ、つづいて来賓として釧路市長代理市民部長のあいさつが終わり、祝電・メッセージが全国各地よりあり披露していただきました。つづいて議長選出に道南腎協田中会長、釧路地方腎友会橋本事務局長の二人が選出され、議事に入りました。

議事は滞りなく満場一致で可決致しました。

議事の細部にわたる説明は、「どうじん」第五十三号を参考にして下さい。

つづいて議長解任し、鈴木副会長の閉会のあいさつで総会を無事

終了しました。

午後より希望者により釧路温泉ツアーを楽しませていただきました。

釧路支部の皆様、本当にありがとうございました。

(報告 澤内 繁雄)

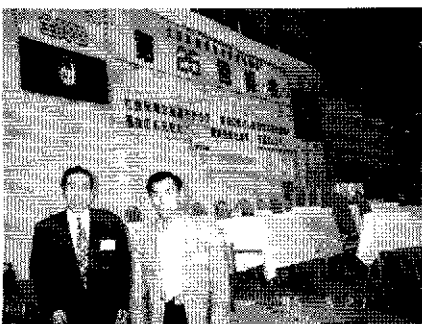
## 全腎協第25回総会 宮崎に全国から一、〇二五名

平成七年五月二十一日(日曜日)宮崎県宮崎市の宮崎観光ホテルにおいて、全腎協第二十五回総会が開催され、一、〇二五名の参加者がありました。今年には全腎協の法人化のため、会員参加の総会としては最後になると思われ、札幌腎友会からは、私し鈴木と柳沼事務局長が参加しました。

私達は、前日の二十日(土曜日)に札幌を出発し東京を経由して、四時間かかって宮崎に到着しました。

総会当日は、例年のように午前の全体会と午後の分科会があり、全体会は梶崎洋一郎九州ブロック代表の司会で亀川紀暉宮崎県腎協会長の歓迎のあいさつではじまり、

黙とう、油井全腎協会長のあいさつ、来賓あいさつ、祝電・メッセージの紹介につづき、議事にはいり、昨年度の活動報告・決算報告・会計監査報告・今年度の活動方針案・予算案の提案・説明の後、昼食をはさんで分科会となります。



左から鈴木、柳沼の両氏

分科会は七つあり、私達は第六分科会「魅力的な患者会づくりをめざして」に参加して各県・各地域の声を聞いてきました。各県では、透析患者の高齢化などにより、役員のなり手不足という事で、青年部の活動を強化しています。しかし、若い患者が少ないので、二十〜三十人の所が多く、名称も「独身交流会」「企画部」などとして、活動としては、運動会、クリスマスパーティー、カラオケ、ボウリング等、遊びから会員の交流と、お互いをささえあえる、魅力のある会にしようと努力しています。「サポテンの会」も今の活動を続けようと思いました。

また幹事会等の会議の場でも、報告や審議だけでなく、幹事や各施設の情報交換の場にする事や、患者会は施設やスタッフとの関係を良くすることにより、組織率の向上につなげる事。

また、患者会の活動は、一部の役員や事務局だけの活動になりやすく、今後札幌腎友会の活動でも考えなければいけない事だと思います。

(報告 鈴木 啓三)



私は今年九月で透析五年目に入ります。慢性腎炎と診断され七歳の頃から二十年がたち、ふり返るといろいろなことがあったとつくづく感じます。

### 投稿

## 『涙九割でも残りの』

### 一割の材料が生きるバネ!!

芸術の森泌尿器科

前中 由紀江

いつも食事の制限をして体に無理をかけず、毎日薬漬けで、病院での検査、検査、悪くなれば入院の繰り返し生活！

徐々に悪くなっていったものの、日でも透析を遅らせるために努力していたのに、二十歳の一月、友達達の運転する車で正面衝突の重大事故にあい、そのころやっと仕事に就けて仲間もできて、一人の社会人として生活して幸せだった何ヶ月が、もの

みことにはじめてしまいました。

ました。

病院の懸命な処置と家族の看護のおかげでおどろくほどの回復をし、一時透析はまぬがれたものの、心のキズはあまりに大きく、しばらくは何もかもが否定的で一あの事故の時に死んでいれば、こんなに苦しい思いをしなくてすむのに」とよく思っ

そして今…きちんと自分のシャントで透析を受け、仕事もし、一人で生活しています。あんなに内向的で、人では何もできなかった私が、この札幌でがんばれたのは、文章では言い尽くせないほど父の病気に對する理解や協力のなさで両親が離婚にま

でなつた事でした。母と二人になつた今、強く明るく生きる事が父への反抗であり、意地なのです。今の私は、時には上を見て心に隙間ができて落ち込むこともありすが、いろんなことが普通の人以上にあるから、涙九割でも残りの一割が幸せに思えバネになります。

たものです。そうこうしているうちに、平成三年に病状が悪化し、北見で透析導入となり私は足に人工血管を入れたのですが、血管のトラブルから使えなくなり、手にシャントを作ってもらうため思い切つて一人で、札幌に出てきて恩返しをしなければ……

# のんびり湯ったり

飲み過ぎたかな  
モエレでレク

6月25日



とっておきの顔ですよ

## ビンゴゲームと カラオケでワイワイ

平成七年六月二十五日（日）、札幌腎友会では、春のレクリエーションという事で、昨年に引き続き、東区の中沼にあるモエレ健康センターへ行って参りました。

今年は十四施設、三十二名と昨年と同様、参加者が少なく、少し寂しい感がありました。が、いつももお風呂好きの面々が揃ったという印象をうけました。

参加者が、それぞれ無料の循環



カラオケに聞き惚れた？



楽しい会食のひと時

バスやマイカーを利用し、現地に午前十時に集合し、簡単な説明を受けたあと、お風呂へと散って行きました。

ひと風呂浴びたあと、二階のフロアで、会食時間まで、のんびりとくつろぎ、テレビを観たり、おしゃべりをしたり、中には早々とビールを飲んだり、冷酒を飲む強者もいて、傍目にはとても透析患者とは思えませんでした。

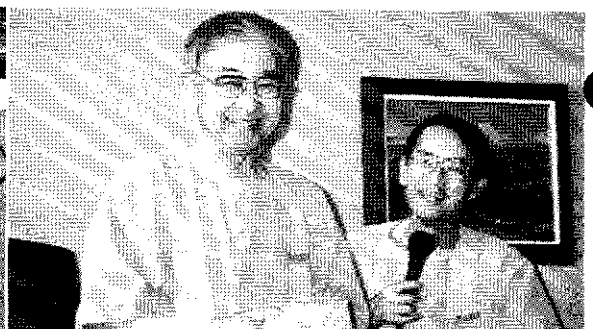
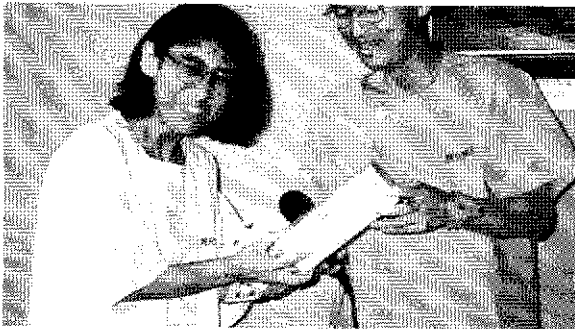
会食時の十二時には、二階奥の宴会場に全員揃い、幕の内弁当に舌鼓を打ちました。味付けも薄味、減塩正油もという心づかいをいた



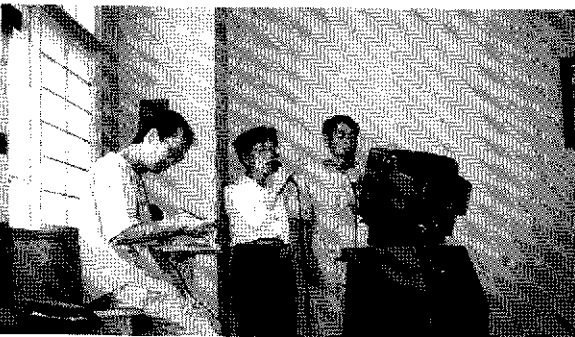
自慢のノドを披露



ビンゴゲームで当たりました



私達も当たりました



デュエットつて緊張しますね



これちょっと期待出来そう

だき、味も豪華な盛り付けにも皆、満足な様子でひと安心。  
 会食後はビンゴゲームをし、抽選に当たった人達は豪華景品？を手にし、ニンマリ。そうでなかった人達にも残念賞があたりました。ビンゴゲームのあとは、カラオケ大会で盛り上がり、あらためて芸達者が多い事を、認識しました。最後に全員で記念撮影をし、そのあとは自由解散を致しました。  
 ちなみに、お風呂は広々とした様々な種類のバスがあり、自慢の薬湯

も人気があり、サウナ風呂にも皆、何度も出入りしていた様子です。  
 参加された方々には満足していただけたかなと思っておりますが、参加者が少ない点については来年度への課題として取り組まなければならぬ課題でしょう。  
 全員事故も無く帰宅された事に、実行委員一同、胸をなでおろしております。又来年まで皆さんお元気で!!

(報告 村本)



# 記 行 旅

## 伊豆大島、箱根と 古都鎌倉の旅に参加して

光星泌尿器科 西田 富美子

道腎協ツアー

六月十四日(水)、北海道を除き全国的に梅雨入り宣言の中、患者さん十名、家族三名、添乗員さんと、合計十四名、五泊六日の小規模なツアーでの出発となりました。

千歳出発時は快晴でしたが、羽田到着時には、横なぶりの雨。それでも予定通り東京都庁へ。四十五階地上二百二メートルの展望室へ。「ちなみに青島知事の部屋は七階にあるそうです」

関東一門の高層ビル群が、一望

できるはずが、目の前は真っ白な霧の中。初日から、出るのはため息ばかり。

浅草見学の夕方には小雨になり、夜十時出航の大島行きに乗船、朝五時三十分着。大島に着いたら青空に太陽が顔をだして出迎えてくれました。それぞれが、自分の日頃の行いが良いためと思いつながら、下船でした。

大島に至る所、椿の木でおおわれていましたが、花のシーズンは終わっていました。

三原山の噴火跡を見て、高速船で熱海へ。金色夜叉で有名な貫一とお宮の「お宮の松」の向かいのホテルでの宿泊でした。

翌日十国峠、箱根関所など見学、明治二年に取り壊されるまで、関所では、峠

越えをするのにも、通行手形を見せなければならず、

関所破りには死刑だったなど、昔の人々の苦勞を思ったりました。富士五湖の河口湖、芦の湖など通っている時、バスガイドさんが、快晴であれば富士山がこちらの方角に見えるのですが、姿を見せてくれませんとの案内が、何度も聞かれました。

結局、二日間、富士山の周辺を走ったのですが、山裾野と、雲の切れ間から、ほんの一瞬、雪をかぶった富士の山頂を見ることができました。現地の人によると、六月に富士山を見ることは、大変難しいことなのだそうです。

横浜では、ランドマークタワー、七十階高さ二百九十六メートル日本一の超高層ビル、世界最高速エレベーターで、約四十秒で到着。視界三百六十度。ベイブリッジ、山下公園の水川丸のライトアップ、港町横浜の夜景は、みことなものです。

横浜市内では、山下公園、人形の家、三渓園の日本庭園などを見て鎌倉へ。

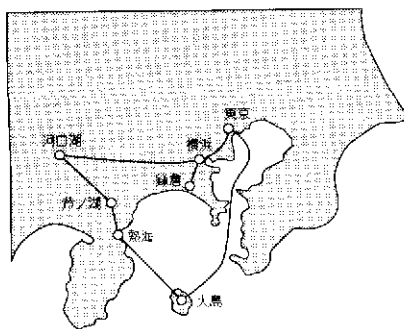
でも渋滞に巻き込まれ、ようやく目的地の鶴岡八幡宮に着いたら、駐車場は満車。バスも止められず、

バスの中からの参拝。鎌倉のシンボル大仏様を見学。胎内の拝観もしてきました。最終日は、中華街での昼食。横浜港のクルージング。おみやげには、一ヶ五百円のプタまんと崎陽軒のしゅうまいをしつかりと持って帰って来ました。

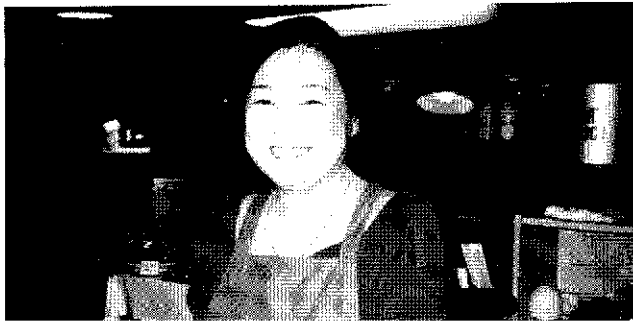
梅雨の中、お天気にも恵まれ、誰一人体調をくずすことなく、六日間を終えることができました。これも休院のところ臨時透析をしていただいた熱海温泉病院、及び川崎クリニックのスタッフの皆様のおかげと、深謝し、又、道腎協の関係者の皆様の病院の手配など、色々ご配慮があればこそ、安心して楽しい旅行ができました事を、心より御礼申し上げます。



後列中央が西田さん







笑顔で応待する三沢さん

# MY LIFE マイライフ

この頁は札幌で活躍している会員さんの一味ちがったライフスタイルを紹介する新しいコーナーです

## 三沢祥子さんの巻 ②

透析歴十四年の三沢祥子さんは、永年胸に暖めてきた、安くておいしいお弁当の店を開くという夢をついに実現しました。店の名前は「おかず屋さっちゃん」。開店は今年三月十六日。元は喫茶店ということで、木の温もりのある落ち着いた雰囲気のお店です。テーブルが四ツ。お持ち帰りが出来て気軽に食べてもいける店です。メニューを見てびっくり、カレーライス、そば、うどん二百八十円。焼き肉定食、焼き魚定食三百八十円。ハンバーグ、トンカツ定食四百八十円と、とても安い。三沢さんは、前から喫茶店を経営していました。が、シャントのトラブルで体調をくずし、二年前に閉店してしました。「この二年間は家にいても横になってテレビを見ているだけの生活で体調もすぐれませんでした」その反省から一念発起したわけだけです。

三沢さんの一日は、朝五時に起床、市場にでかけ、仕入れ、お店でお弁当の仕込みをすませて七時三十分には透析のため、いのけ医院へ向かいます。透析を終えると、電車、地下鉄、バスを乗り継ぎます。お店に入ります。夜は午後七時まで営業し、お店のそうじ、後始末を終えると帰宅は夜八時、九時になります。「あとはお風呂に入ってバタンキューで寝るだけ。でもお店は私の楽しい生き甲斐の場所」と言ってへこたれませんが、実際仕事をしてからは疲れとか、だるさは無くなり体調も良いそうです。「だけど味見をするせいかリンは八、五にあがった」といつて笑います。「若い頃から人と話すのが好きでセールス関係の仕事が多かったので、好きなんです」と言う三沢さんは取材中にも次々来るお客さんにテキパキ対応し笑顔ふりまいています。ただ気になったのは五百円のお弁当に山盛りのサービスでお茶まで飲んでいきなさいとサービス過剰が心配になります。「商売より趣味に近いんじゃないの」と聞くと、「そうかもね」と笑います。いえいえ経

営者の長期戦略かもしれません。「どうしてそんなにがんばれるの」と聞いてみると、「夫の協力」と言う答え。またおのろけを思っただが話を聞いて納得。最初は反対していた夫が、朝五時から買い出しにつきあい、会社がひけてからは夕食を「さっちゃん」ですまし、店閉いを手伝っていっしょに帰宅ということを毎日続けているそうです。三沢さんは、腎友会の役員もしています。最後に「腎友会の皆様もどうぞご利用下さい」と、しっかりPRも。

どうか体に気をつけて頑張ってください。 (取材 高道)

「おかず屋さっちゃん」  
東区北27条東7丁目  
電話742-7080



## 投稿

# 自分と戦い明るい私に戻りました

仁楡会病院 竹越 良子

平成二年五月二十六日、長い間体調がおもわしくないので、軽い気持ちで病院へ行くと、「すぐ入院の準備をして来て下さい」と云われ、エーなんで？「あの私まだ子供が小さいので入院出来ないのですが」と答えると先生は目を丸くして「このままだと貴女は死んでしまいますよ。子供が小さいのに死んでもいいんですか」と大きな声で云われました。でも私には全然ピンとこないのです。何故死んじゃうのとキョトンとしている私に、先生は「腎不全で人工透析になりますよ。今、クレアチニンが八ですが十二になると透析に入ります。入院して少し様子を見ましょう」クレアチニン、なんだらう。



人工透析、聞いた事がある。でもどんな事をするのだろうか。人工透析っていつまでするのだろうか。私の頭の中は、パニックになりました。その日の夕方主人に連れられ入院して先生からの説明があり、「障害者手帳の交付の手続きをしましょう」私が障害者？それも一級とか。食事の管理、水分制限とか話を聞いている内に、だんだん自分が落ち込んでいくのがわかりました。それも透析は一生しなければならぬ。「あーもういやだ」とつくづく思いました。明るく、にぎやかで元氣だった私が、その日から人と話をする気も、人前で笑う事もなくなりました。人に声をかけられるとわけもなく涙が出て

くるし、子供の事を考えては、又、涙でした。それに食事や水分の制限をされると、むしように食べた、飲みたくもありません。息苦しい日が続きました。何日かそういう日が続きましたが、ふと自分で考える時間を持つる気持になったのです。

こんな事では自分にも病氣にも負けてしまう。病は氣からとよくおばあちゃんが云っていた。そうだ気持保持、この病氣とは一生付き合っていくのだから仲良くして行こう。私よりまだまだ大変な病氣の人もいるのだから、そんな事を考えている内に、ふと心が軽くなったのです。そして二ヶ月後と

うとう透析導入になりましたが、

自分自身との戦いは終わっていたので平静に透析に入る事が出来ました。回りをゆっくりと見わたすと大勢の人が透析しており、仲間から励まされ勇気づけられました。良き先生、スタッフに恵まれ、今年の七月透析五年目になります。

透析導入時期入学したばかりの一人息子も五年生になり、私よりも大きくなるうとしています。今では透析ともすっかり仲良くなり、いろんな仲間に出会い、又にぎやかで明るい元氣な私に戻る事が出来ました。

これからは病氣と二人三脚で前向きに進んで行こうと思います。

## 投稿 透析治療を始めて、四年足らず

NTT札幌病院 梅田 明



生きる仲間の皆さん初めまして、NTT札幌病院の梅田と申します。私の透析治療は忘れもしない、平成三年十月七日(月)のこと、NTT札幌病院の看護婦から突然電話がかかってきて、島村先生がちょっと、お話があるから来てくださいとのことでした。病院に着

いて先生開口一番、「梅田さんもうだめだ！」

透析治療を始めます。」(シャントは、平成三年四月から七月に内科に入院中に作成済)と言われ、やっぱりか!もう来たの!と思いましたが。始めは、週二回でしたが二ヶ月ほど週三回になりました。二年ぐらいは順調でしたが、段々と抵抗力が落ちてきたのかもしれないが、よく風邪をひくようになってきたのです。扁桃腺が腫れて、体温四十二度(体温計の目盛りが振り切れます)の風邪をひくのです。何回一日入院をしたことか。(家に帰れないのでした。)

そこで扁桃腺の摘出手術を先生にお願いをして無事手術は成功したのですが、手術後、何日かした日曜日の夜七時ごろ、突然「ムカムカ」としてきたのでした。痛み止めにによる副作用で、胃からの大量出血?(新人看護婦慌てる)耳鼻咽喉科の先生に診てもらっても(ゲボゲボと血を吐き吐き)喉からの出血で無いとの事で、夜中に麻酔科の先生に来て頂き、手術室で緊急処置をして貰いました。それで入院生活が三週間以上も長引

いてしまいました。

それから、風邪をひいても、喉はあまり痛くならず、熱も四十二度にはなりませんでした。

三年日からは、広島町に温水プールができる事になり早速入会して、体力増強に励みました。がしかし、その夏七月七日(木曜日)の夜、姪(二歳)が左手首(シャントの所)にジャンプしてきたのでした。その時はちよつと痛いと思っていたのですが、翌日の透析のときに血流がとれないのでした。そして、翌週に血栓除去手術をしたのですが、一週間ほどで血栓がまた出来てしまいました。

またまたシャントの作成手術をする事になりました。その年の夏は猛暑!傷口はジクジクするし、腫れは退かず入院生活は、もう少し!もう少し?と延び延びになり、退院は八月二十七日(土曜日)になりました。此の夏は、温水プールにも行けず寂しい夏に終わりました。それからには特に左手の側に、人の気配を感じたら直ぐに避けるようにしております。

今年の一、月NTT札幌病院のベッドが二台から六台になり、透析

患者も十八人程になり、段々と賑やかになってきました。

透析を始めて、四年足らずですが、その間に手術を三回もして色々大変でした。また、札幌腎臓病患者友の会にも入会して、同じ腎臓病を患っている人も、元気に生活している人達を見て、私もこれか

らは、「もっと、もっと」元気になるうと思えます。海に山にレジャーに、それから、友の会にも積極的に参加して沢山の友達を作り、人生を「エンジョイ」しようと思っておりますので、よろしくお願ひ致します。

### 国民医療を守る国会請願署名結果

国民医療を守り、国立病院・療養所の充実を求める国会請願署名運動にご協力ありがとうございました。結果は左表通りです。

施設名	署名数	施設名	署名数
札幌北クリニック	115	光星泌尿器科 光医	20
札幌北楡病院	70	幌南病院	20
仁楡会病院	70	橋本内科 橋ク	20
石川医院	70	三樹会病院	17
勤中協 中央病院	60	うえと医院	10
田島 クリニック	45	兼古循環器 ク	10
宮記の森 念病院	40	札幌鉄道病院	10
札幌東 クリニック	38	桑園中央病院	10
渡井医院	37	新井田医院	10
中野医院	30	札幌セントラル クリニック	9
南一条病院	30	芸術の森泌尿 器科	6
佐藤医院	30	衛自札幌 病院	3
いのけ医院	20	合 計	800

## 事務局活動経過報告

- 3月10日 〃全腎協。(146号)  
〃透析ライフ。(冬号53号) 発送
- 3月13日 三役会議 (クインテス～4名)  
・総会議案書について
- 3月22日 〃生きる仲間。(31号) 発行
- 3月26日 第3回幹事会 (北区民センター～29名)  
・総会議案書について  
・その他
- 3月28日 〃どうじん。(52号)  
〃どうじん。(特別号～実態調査) 発送
- 4月11日 会費袋発送
- 4月18日 「国立病院・療養所の充実を求める」  
国会請願用紙を発送
- 4月25日 〃生きる仲間。(第32号～議案書) 発送  
〃全腎協。(第147号～議案書) 発送
- 5月9日 三役会議 (クインテス～7名)  
・総会進行打合わせ
- 5月11日 編集委員会 〃生きる仲間。(第33号)
- 5月14日 第20回札幌腎友会定期総会  
(北区民センター～52名)
- 5月16日 〃全腎協。(第148号)  
〃どうじん。(第53号～議案書) 発送
- 5月30日 第1回レクリエーション実行委員会～  
(クインテス～9名)  
・行先・内容を検討
- 6月4日 第18回道腎協総会釧路大会  
(160名参加)
- 6月6日 レクリエーション案内発送
- 6月13日 花火販売パンフレット発送
- 6月22日 レクリエーション買出し
- 6月25日 レクリエーション実施  
(モエレ健康センター～14施設32名参加)
- 6月27日 〃どうじん。(54号)  
〃透析ライフ。(春号～54号) 発送
- 7月4日 事務局会議 (クインテス)  
サポテンの会会議
- 7月11日 第1回炊事遠足実行委員会  
(クインテス～8名)

## ■事務局だより■

◎難病連への協力事業であります、花火販売と、大通ピアガーデンの利用券の販売にご協力願います。

お申込みは各施設の幹事をお願い致します。

◎恒例の炊事遠足が9月3日(日)に決まりました。今年も支笏湖モーラップキャンプ場でジンギス汗ブタ汁をします。施設幹事を通してお申し込み下さい

◎腎登録街頭キャンペーンが、今年も大通り西3丁目にて9月10日に行なわれます。皆様のご参加をお待ちしています。

◎ご寄付を頂戴しております。

○和田保三様 (北クリニック) ご遺族より  
50,000円

○田井中英子様 (広田医院) より  
4,000円

○東クリニック患者御一同様より  
50,000円

何れも大切に会活動に役立たせて頂きます。ありがとうございました。

## 〈編集後記〉

○先日、久しぶりに、家族で円山動物園に行って来ました。中島公園にあった子供の国が同居していました。象やキリン・ゴリラ等の動物を見ていると、自分の子供の頃に感じた動物への神秘・畏敬等の感情が蘇り、ひとときの間、心の中をさわやかな風が吹き抜ける様でした。皆様も緑あふれる円山動物園へいかがですか。(堀井)

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可  
平成7年7月10日発行 (毎月10日発行)

H・S・K通巻280号

発行人

北海道身体障害者団体  
札幌市中央区北9条西19丁目55  
細川

久美子

(講読料は会費に含む)  
頒価150円